

例会は「飛べダコタ」と「ひまわり」の選択制

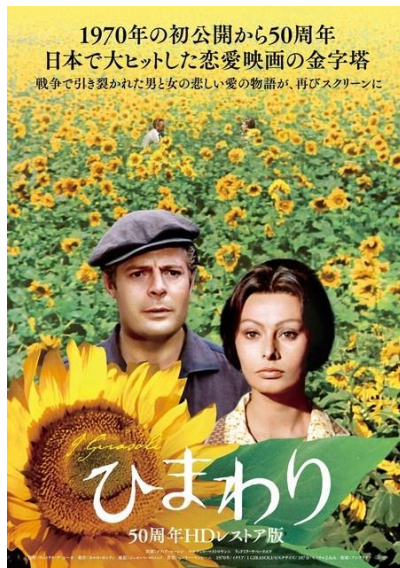
8月31日の兵庫県映画センター上映会と例会を合わせて開催

今年の夏はいつになく暑い日々が続いていますが、みなさんお元気ですか。

先日、戦前の沖縄最後の県知事、島田観さんを取り上げた「島守の塔」をみてきました。島田県知事は、神戸・須磨の出身。軍と衝突しながらも県民の避難のために葛藤する姿と「官民共生共死」の方針の下で、県民が総動員され、軍とともに死ぬことを強いられたこと、県民の犠牲を顧みない持久戦として行われたこと、方言を使う県民をスパイ視したことなど県民の4人に1人の命が奪われた沖縄戦のすさまじさが丁寧に描かれていました。戦争の悲惨さを知ってほしいと、この季節になると思わずにはられません。シネマクラブの作品選びもこの季節は、「戦争・平和を考える」をテーマに作品を決めています。

今回の例会は、兵庫県映画センターとの共同で特別例会としています。会員券で1本見ていただけます。2本目は900円になります。お友達を誘ってぜひ参加ください。

さて、新型コロナウイルスの感染者は、過去最高となりました。政府の行動制限はないものの、参加にあたっては、①自宅で体温を測定 ②入館時には手指の消毒 ③マスク着用 ④「3密」にならないようなるべく周囲の方と距離をおく を守って、楽しく映画を楽しみましょう。



例会のお知らせ

第119回例会(どちらか1つに限る、当日受付で申し出てください)

■名称/その1「飛べダコタ」

その2「ひまわり」

■日時/2022年8月31日(水)

その1 1回目 AM10:00~ 2回目 PM4:20~

その2 1回目 PM2:00~ 2回目 PM6:40~

■場所/加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

その1

■タイトル/飛べダコタ

■監督/油谷誠至

■出演/比嘉愛未、窪田正孝、洞口依子、中村久美、芳本美代子、螢雪次郎、園ゆきよ、マーク・チネリー、デイン・ニューコム、綾田俊樹、ベンガル、柄本明

■データ/2013年、日本、109分

■ジャンル/戦争、ヒューマンドラマ

■ストーリー・解説/昭和21年1月14日。太平洋戦争の終結からわずか5か月後。佐渡島のちいさな村に、英国空軍の要人機《ダコタ》が不時着した。はじめは驚き、戸惑う村人たちがだったが、やがてイギリス兵との間に国

上映時間ご注意

9月例会(8月31日)

2本目は、観覧料900円が必要です。

「飛べダコタ」

①10:30 ③16:20

「ひまわり」

②14:00 ④18:40

境を越えた友情と絆を育み、《ダコタ》をふたたび大空へと旅立たせていく。これは、76年前にあった真実の物語である。

第二次世界大戦終結から77年経った現在でも世界から戦争はなくなる。国家間で争いの種となる問題がいくつもある状況で、先人たちが残した足跡を見つめ直し、人と人との絆、国と国との相互理解を深めていくことが必要ではないだろうか。そこには必ず、時代や国境を越えた「真実の人間愛」が見えてくるはずである。

その2

■タイトル／ひまわり

■監督／ヴィットリオ・デ・シーカ

■出演／ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニ、リュドミラ・サベリエワ

■データ／1970年、イタリア、107分

■ジャンル／戦争、ヒューマンドラマ

■ストーリー／第二次世界大戦下、陽気なアントニオと結婚したナポリの女のジョバンナは、夫を戦争に行かせないために狂言師倍までするが、アントニオは地獄のソ連戦線に送られてしまう。終戦後も戻らない夫を探すために、ジョバンナはソ連に向かい夫に足跡を追う。しかし、広大なひまわり畑の果てに待っていたのは、美しいロシアの娘と結婚し、子どもたちに恵まれた幸せなアントニオの姿だった……。

戦争の残酷さと対比させる美しい一面のひまわり畑はウクライナで撮影された。2022年2月に始まったロシアによるウクライナ軍事侵攻で戦禍は再びウクライナに降り注いでいる。『ひまわり』は、いま改めて我々に戦争の恐ろしさと悲しみを教えてくれる。

前回の例会報告

7月21日(木)の7月例会では、ヒマラヤ山脈にあるブータン国の標高4,800メートルの地に位置する電気も通っていないルナナ村、荘厳な自然のもとで、学校に赴任した現代的な暮らしをしてきた先生、彼を温かく迎えてくれる村人とキラキラと輝く瞳をした子どもたちとの生活を描いた「ブータン 山の教室」を鑑賞しました。

『ブータン 山の教室』感想

・なんでも便利で快適な現代の生活は、何か忘れ物をして進んできたように思えました。

・風景が素晴らしかった！

・歌を歌いながら彼はこれからどうするのか…

気になるな～

・行きたくてたまらなかったブータンがスクリーンの中にありました。ペンザムが、子どもたちがかわいー！

ルナナに向かう道中、ずっと下を向いて歩いていたウゲンがついに充電が切れてヘッドホンをはずした瞬間、春を告げる鳥の音が響き渡り、木々を見上げる場面が印象的。きつとこのあたりからウゲンの中にルナナが入り込み始めていたのだ。村の人たちが唄う歌に力が感じられますが、村長の唄う『ヤクに捧げる歌』は魂を揺さぶられるようなものがあります。

原題の『Lunana A Yak in the Classroom』の『ヤク』はウゲンのことでもあり、子どもたちを『未来につなげるもの』なのかなあと考えています。観られてよかった。

参加会員87名、臨時会員(会員紹介者)8人、明石シネマクラブから14名。

明石シネマクラブ例会情報

第73回平和のための特別例会

■名称／『ひまわり』(1970年、イタリア、107分)

■日時／10月21日(木)①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

■その他、明石シネマクラブでは、10月21日(木)AM10:30-、アスピア明石9階子午線ホールで『夕凧の街桜の国』(2007年、日本、118分、佐々部清監督作品)の有料上映会を開催します。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリ番号が変わっています。

会員数129人(7月21日現在)